

公募制推薦入試の試験方針について

英語英文学科

- 高等学校において学ぶ英語の基礎力を試すような問題を出題します。その際、英語の基礎的な文法的知識、語彙力、読解力、英文構築力は当然必要ですが、それだけでなく、日ごろから世の中の動きに関心を持ち、さまざまな問題について考え、自分の意見を持ち、それを論理的に英語で表現する力を培っていることも必要です。

日本語日本文学科

- 古文と現代文による問題文に対して、基本的な言語や文脈の理解のうえで、本文の趣旨を正確に読解しているかどうかを試し、基礎力を見ます。さらに、本文の要約およびその内容を契機とした自分の意見を述べる小論文を課し、的確な問題把握に基づいた思考力と判断力を自分の言葉で論理的に進めて表現できる表現力を評価の指標とします。
- 文章を通して自らの<内面>と<ことば>を磨き、それらを発信しようとする意欲を積極的に表現できるようにしてください。

現代社会学科

- 試験は、ある程度の長さの文章を読み、設問に答え、その上で条件に従って小論文を作成するという形式をとってきました。提示した文章は、いずれも時事問題や歴史に関わる問題を扱ったものです。これは、読解力や文章構成力一つまり言葉に関する力とともに、社会に対する知識やセンス、洞察力を問いたいという考えからです。評論などの“かたい”文章を読む経験を積んでおくこと、地歴・公民の学習を怠らないこと、そして社会に対するアンテナをとぎすましておくこと、を期待します。
- また、英語の基礎的な読解力も望まれます。

人間生活学科

- まず、高校までに学習した基礎的な知識の定着を図っておいてください。小論文の設問は、本学科の学生に求めたい資質、すなわち時事問題に対して高い関心を持って理解を深めていること、様々な情報を客観的に整理分析して独自の考えを持つこと、などを反映しています。したがって対策としては、新聞の社説や論評などを読むことやTVニュースを視聴することを日常生活の中で習慣化し、それらに対して自分の考えを論理的に文章で表現することを習慣づけておくことが望まれます。

児童学科

- 文章や資料に基づいて、それらを読み取る力、多面的で柔軟な考え方や自分の考えを論理的に組み立て、表現する力をみていきます。従って、日頃から多様なものの見方や自分の考えを表現することを心掛けてください。面接でも同

様に、子どもへの関心だけでなく、社会問題にどの程度関心を持っているか、質問に対して的確かつ積極的な応答が可能かなどをみていきます。

食品栄養学科

- これまで本学科では、英文読解と図表の読み取りに関する問題を公募制推薦入試として出題してきました。これは管理栄養士養成の分野において、様々な科目を学習・研究していく上で、資料や文献から情報収集を行うことが必要不可欠と考えるからです。本学科に入学を希望する学生には、基礎的な学力はもとより、現代の諸問題に関する情報を分析する能力、及び自らの意見を論述する能力を期待しています。